

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)

【公開番号】特開 2006-347546 (P2006-347546A)
 【公開日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-051
 【出願番号】特願 2006-270547 (P2006-270547)
 【国際特許分類】

B 6 2 M 23/02 (2006.01)

【F I】

B 6 2 M 23/02 N

B 6 2 M 23/02 P

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 22 日 (2006.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

人力駆動力を検出する磁歪式センサと、
 走行を行うための車輪走行部と、
 前記人力駆動力をこの車輪走行部に伝達するドライブsprocketと、
 補助動力を出力する補助動力装置と、
 この補助動力装置の出力を減速する減速機構と、
 検出した前記人力駆動力の値に基いて前記補助動力装置の制御を行う制御部と、
 前記補助動力を前記車輪走行部に伝達する補助sprocketと、
 この補助sprocketと前記ドライブsprocketとそれぞれ独立に係合しそれらの駆動力を前記車輪走行部に伝達するチェーンと、
 前記磁歪式センサと前記補助動力装置とをそれぞれ覆う非磁性体材料からなるケーシングとを備え、

前記補助動力を前記車輪走行部に伝達する機構内では、減速もしくは等速で伝達していることを特徴とする補助動力装置付き車輪。

【請求項 2】

減速機構の出力を補助sprocketに伝達する一方向力伝達部材を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の補助動力装置付き車輪。

【請求項 3】

人力駆動力をドライブsprocketに伝達する一方向力伝達部材を備えたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の補助動力装置付き車輪。

【請求項 4】

減速機構が歯車であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の補助動力装置付き車輪。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

本発明の補助動力装置付き車輛は、人力駆動力を検出する磁歪式センサと、走行を行うための車輛走行部と、前記人力駆動力をこの車輛走行部に伝達するドライブスプロケットと、補助動力を出力する補助動力装置と、この補助動力装置の出力を減速する減速機構と、検出した前記人力駆動力の値に基いて前記補助動力装置の制御を行う制御部と、前記補助動力を前記車輛走行部に伝達する補助スプロケットと、この補助スプロケットと前記ドライブスプロケットとそれぞれ独立に係合しそれらの駆動力を前記車輛走行部に伝達するチェーンと、前記磁歪式センサと前記補助動力装置とをそれぞれ覆う非磁性体材料からなるケーシングとを備え、前記補助動力を前記車輛走行部に伝達する機構内では、減速もしくは等速で伝達している。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 2

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 2 】

別の観点による発明の補助動力装置付き車輛は、減速機構の出力を補助スプロケットに伝達する一方向力伝達部材を備えている。

別の観点による発明の補助動力装置付き車輛は、人力駆動力をドライブスプロケットに伝達する一方向力伝達部材を備えている。